

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		交通安全施設等整備事業				②事業番号		5101	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		一 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款 7		項 2		目 2		細目 4	
⑨担当部名		⑩担当課名		会計		一般会計			
都市整備部		道路課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
カーブミラーや路面標示等の道路管理者が管理する交通安全施設について、要望等に基づき新設や修繕を行う。		① 要望件数		件	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
市民の交通安全を確保し、道路等を安全に利用できる状態を保つ。		① 処理件数		件	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
安全な道路環境の維持・向上を図ることができる。		政策(章)		4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち	
		施策大(節)		2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします	
		施策中		3 交通安全の推進	
		施策小		2 交通安全施設の整備	

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H29実績	H28実績	H30実績	R1見込	R21目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	63,125	62,549	61,984	—	—	
対象指標②								
活動指標①	要望件数	件	19	26	22	—	—	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	処理件数	件	42	26	22	—	—	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.98	1.22	1.42	1.42		
	正職員	人	0.25	0.25	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	8,679	10,592	11,512	11,512		
	直接事業費	千円	8,623	8,621	8,648	9,142		
	総事業費	千円	17,302	19,213	20,160	20,654		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	10,618	9,854	9,338	9,338		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	6,684	9,359	10,822	11,316		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	道路環境の向上と、道路利用者の安全確保を図ることから実施
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	通学路等における歩行者への安全対策がより強く求められるようになった。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する アイ. ある程度 ウ. しない	市民の道路通行の安全が確保できる。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい アイ. ある程度 ウ. いいえ	市民の道路通行の安全性を確保するための事業である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	道路の交通安全に対しては、年々ニーズが高まっているため、妥当であると考える。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない	道路環境の維持・向上に多大な影響がある。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

B

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	通学路におけるグリーンベルトの設置の要望が年々増加しており、全てに対応が出来ていない現状がある。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	警察や教育委員会との連携を強化し、危険箇所の把握を行い、重点的に安全対策を実施していく必要がある。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	交通安全施設の設置に関しては、適切な積算により入札で施工業者を選定しており、これ以上のコスト削減は難しい。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	限られた予算の中で、歩行者の安全確保を最優先とし、集中的な対策が必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 (___ 年から)</p>
a	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	警察等との合同点検による危険箇所の把握を行い、安全対策の必要性を検討のうえ、重点的に対策工事を実施していく。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	地域の要望等に対しても、きめ細かい対応が必要になってくる。